北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	観光情報学Ⅰ	科目コード	1473	単位数	3
担当者名	三田村　保	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	C,F	実務経験	無
ナンバリング	ITb403	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義は、観光情報学に関して観光者、行政、業者、観光資源がどのように取り組んでいるかを学びます。具体的には観光におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）を理解し、日本における観光DX事業の概要や海外における観光地DXの事例を学びます。またICTを利活用した事例を通して北海道の観光DXに関する課題を発見し、解決策を議論することを通して、観光DXに関連する知識や新しい価値を創造・提案する能力の獲得を目的とします。

到達目標

観光DXに関連する知識を習得できます。観光DXに関する課題を理解し、解決策を提案することができる。
学内Wi－Fiを?いてオンライン上のデータ／アプリ／サービスを授業で使?し、ICT（情報通信技術）の利活?の?法を学ぶ／利活?ができるようになる。

授業内容

1週目 講義ガイダンス　①観光情報学　②観光DX
2週目 日本・世界における観光DX　①観光庁観光事業　②海外の観光DX事業
3週目 北海道における観光DX
4週目 観光ビッグデータ ①観光ビッグデータ　②ビッグデータの分析方法
5週目 交通予約サイト ①「JAL」「ANA」　②「JR」「レンタカー」
6週目 宿泊予約サイト　①ホテル　②OTA　③旅行比較サイト
7週目 SNSを利活用した観光情報　①Instagram　②FaceBook　③インフルエンサー
8週目 宿泊施設におけるICT利活用　①宿泊データベース　②チェックイン・アウト　③客室管理
9週目 ツーリズム（１）　①コンテンツツーリズム　②アドベンチャーツーリズム他
10週目 ツーリズム（２）　①ヘルスツーリズム　②フードツーリズム他
11週目 仮想現実（VR、MR、XR）の利活用　①仮想現実の概要 ①メタバース、アバターの利活用
12週目 人工知能（AI）の利活用 ①AIの概要　②「ChatGPT」「生成AI」の利活用
13週目 マッチングサービス　①「おてつたび」　②「トリップパートナー」　③「ぬいぐるみの旅」
14週目 北海道観光に関連したビジネスプランの企画
15週目 北海道観光に関連したビジネスプランの提案
16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

・各週３時間の予習・復習を行うこと。
・予習：資料は事前にmanabaにて配布するので、学内Wi－Fi等を?いて各?アクセスし、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。
・復習：授業での指導・議論を振り返り、課題に取り組むこと。課題はmanabaにて提出すること。

成績評価の方法・基準

・成績評価は11週以上出席した履修者を対象とし、課題や個人・チームでの活動内容をもとに評価します。

履修上の留意点

・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
・授業内で課題の提出、観光DXの事例を検索・調査しますので、ノートPCを持参してください。
・グループによるコンテンツ制作等のアクティブ・ラーニングを実施します。そのため、グループに迷惑をかけないよう欠席しないで受講してください。
・授業時間以外にも?主的に調査・情報収集の取り組みが必要になるので、学内Wi－Fiを?由に使い、積極的にアクティブ・ラーニングに取り組むことが望ましい。
・学内Wi－Fiの利?等に関わるセキュリティ対策のために、ガイダンス等で?される指?を順守すること。

課題に対するフィードバックの方法

・manabaにて提出された課題や発表に対し適宜フィードバックをします。

テキスト

特になし。必要に応じて資料を配布します。

参考書

廣川州伸『観光業DX』（秀和システム）1760円

更新日付

2026/02/26 10:50